

事業計画書

事業名	大平の魅力発信！ ～地域の高校生による石仏PR大作戦～
実施場所	大平地区内（地区センター、大平中、大平小など）
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

高校生が、大平地区にある石仏をモチーフにカレンダーやトランプを制作して地域や沼津市内の小中学校へ配布したり、石仏の魅力をSNSで発信したりして、大平地区の石仏をPRする。また、制作したトランプを用いて、地域の小学校や幼稚園、高齢者施設などと交流する。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

大平地区には、各所に多くの石神、石仏群が祀られているが、その存在を知る人は地域住民でも少ない。心のよりどころとして大切に守られてきた石仏を現代の人々に知ってもらうとともに、後世にも残していけるよう、その魅力を発信し地域活性化を目指す。人々の石仏への理解が促されることで、地域への誇りや愛着が育まれると期待できる。SDGsの目標4、目標11の達成にもつながると考える。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
	実施項目
	・石仏をモチーフにしたカレンダー、トランプの制作し配布する（配布先は、地域の施設、住民及び沼津市内の教育施設）
	・大平郷土史研究会のHPを立ち上げ、石仏の魅力を発信する
	予定
4月	・カレンダー用 石仏イラストデザイン、印刷業者選定（～6月）
	・トランプ 仕様及びデザイン、制作方法の検討（～6月）
	・SNS発信方法の検討
6月	・SNS発信開始
	※石仏についての発信とともに、カレンダー、トランプ制作過程についての発信も行う。
7月	・カレンダー印刷依頼
8月	・トランプ制作開始
	・石仏PRのための地域イベントへ参加
	・カレンダー校正
9月	・カレンダー印刷
10月	・カレンダー完成、配布
11月	・トランプ完成、配布
12月～	・トランプを用いた交流（主に、小中学生）
	※大平中卒業生へ参加協力を募る

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平地区の人々が、石仏の魅力や価値に気づき、地域への愛着と誇りを一層持つようになる ・大平地区以外の人々が、大平の石仏を知り、人々の大平への関心が高まる ・自分たちが暮らす地域の歴史的財産を発信する高校生の活動を、地域の大人が支援することで地域活動の活性化が期待できる 		
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー、トランプに Web アンケート添付 ・SNS の閲覧数 	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答の分析 ・SNS 閲覧数のカウント、コメント分析

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平地区の人々が石仏の価値に気づき、地域への誇りを持つようになる。 ・大平の石仏の中には沼津の宝 100 選に選定されているものがあるが、本事業による石仏PRによって、より多くの人々が大平の石仏へ関心を持つようになる。
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>大平の石仏は、古くから狩野川の水害や干ばつ、疫病に何度も見舞われてきた人々によって、心のよりどころとして江戸時代を中心に建てられた。現代でも、水害の危険性は拭えず、新型コロナウイルス感染症収束の見通しはない。大平の石仏から人が生きて生活する知恵を学ぶ機会にもなると考える。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平の石仏は、これまでも大平郷土史研究会や沼津市が調査・保全・PR等を行ってきたが、本事業では高校生の視点で石仏をPRする ・小中学生でも石仏に親しみを持てるよう、見た目や云われをもとに石仏をキャラクターとして表現する
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平地区の小中学校での社会科や総合的な学習の時間に石仏をテーマにした学びが展開されるようになる
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>本活動は、令和4年度大平中3年生が、総合的な学習の時間に行っていた活動が元になっており、石仏カレンダーや石仏トランプを試作している。今後は、大平郷土史研究会として、印刷業者を選定し、詳細な仕様について検討を進めていく。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>大平中生として、総合的な学習の時間にSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標11「住みつけられるまちづくり」達成を目指し、石仏カレンダーや石仏トランプを制作してきた。学校での学びとしての成果は得られたが、真の目的の達成には、カレンダーやトランプをより多くの人々に使ってもらい、石仏について知ってもらふ必要がある。そのためには、専門業者による印刷が必要である。今後は、郷土史研究会に所属し、地域の一員としてふるさと大平の活性化のために活動していきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。